

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	177	人権啓発推進事業	01	01	一般会計
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する。	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			18	18	人権啓発費
担当部課名		大山田支所 人権同和課	101	101	人権啓発推進経費
作成者氏名	重本 敏昭	連絡先	46-0140	01	人権啓発推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	<p>大山田に住むすべての市民、団体が人権について正しい理解をするために、地域、家庭、職場など、あらゆる場において人権啓発活動を行う。人権侵害の被害者に対して十分なフォローを行い、再び人権侵害が起らないようにする。</p>	<p>地域や職場における指導者が育成され、各地域で自発的な学習会などができる環境づくりができる。</p>			
本事業の目的	<p>住民一人ひとりの様々な人権問題に対する理解と認識を深め、差別を許さない人間関係の育成と住民が主体的に取り組むことができる地域づくりを目指して事業を進めて行く。</p> <p>度 1. 人権啓発地区別懇談会の開催 事 2. 人権フェスティバルの開催 業 3. 人権啓発団体の育成 内 4. 人権モデル地区の育成 容 5. 人権・同和対策推進委員会の開催</p>				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)	
①投入人員	正規職員 (人)	2	2	2	
	人件費合計(A)	14,400	14,400	14,400	
	②支出内訳(千円)	事業費(B)	4,602	3,780	3,700
		委託料	294	270	270
		報償費	1,197	1,014	1,014
負担金		775	775	735	
	その他	2,336	1,721	1,681	
合計(A+B)		19,002	18,180	18,100	
③財源内訳(千円)	特定財源				
	国庫支出金	713	921	645	
	地方債				
	受益者負担				
	その他特財				
一般財源		18,289	17,259	17,455	
上記①～③に関する特記事項					

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
人権啓発地区別懇談会開催地区数	地区	24	24	24			
人権モデル地区の設立数	地区	3	5	5			
人権フェスティバル参加者数	人	380	390	400			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
人権フェスティバル参加者数	参加者の理解度を指数とすべきだが、把握が困難なため本指標を採用する。	人	380 目標 ()	390	400
人権モデル地区の設立数	地域における人権学習の自主的な広がりの成果として設定する。	地区	3 目標 ()	5	5

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

「ライトピアおおよまだ人権大学講座」をはじめとする学習会、講演会等の参加者から、地域や職場における指導者が育成されてきた。各地域で自発的な講演会や「人権を考える会」の設立を通して住民主体の人権啓発が進んできた。人権啓発地区別懇談会においても今後は地区の主権へ移行できるよう進めていきたい。人権モデル地区活動助成金、講師料委託等の方法により事業効果を高める。

評価	必要性	4	人権啓発における市民の意識の把握については、参加者数のみでは評価は困難であるが、市民の人権意識の高揚には啓発事業の継続維持が欠かすことが出来ない。住民主体や協働した事業により効果を高めたり、経費節減に努めたい。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		